

(2) 施策の方針

第4章 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野(1) 健康福祉

施策の方針② 市民の健康と安心づくりの推進

<目標とすべきまちの姿>

健診事業や健康教育が充実し、市民一人ひとりが心身ともに健康な状態で豊かな生活を送り、市民が主体的に健康づくりに取り組める環境が整備されています。

災害時の救護所の設置など、医療救護活動を迅速かつ的確に行えるような体制が整備されています。

1 事業評価結果一覧表

健康福祉部

評価対象事業名		決算値 (千円)	総事業費 (千円)	26年度 職員数 (人)	今後の方向性	
整理番号	事業名				事業内容	予算規模
健福-26	介護保険事業(特別会計)	14,839,840	14,983,709	18.8	a	A
健福-33	医療・保健関係団体支援事業	8,447	9,204	0.1	b	B
健福-34	産科診療所支援事業	104,264	105,779	0.2	b	B
健福-35	保健衛生運営事業	4,323	10,381	0.8	b	C
健福-36	救急医療対策事業	145,898	152,713	0.9	b	B
健福-37	予防接種事業	387,717	407,406	2.6	b	A
健福-38	感染症対策事業	1,363	11,207	1.3	b	B
健福-39	成人保健事業	3,539	16,413	1.7	a	B
健福-40	母子保健事業	110,754	195,568	11.2	b	B
健福-41	高齢者保健事業	105,728	138,291	4.3	b	B
健福-42	成人健康診査事業	14,642	18,428	0.5	b	B
健福-43	がん検診事業	309,830	334,063	3.2	b	B
健福-44	健康情報システム構築・運用事業	21,449	26,750	0.7	b	B
健福-45	食育事業	634	6,692	0.8	b	B
健福-48	国民健康保険高額療養資金貸付事業	0	0	0.0	c	C
健福-49	国保組合支援事業	78	839	0.1	a	C
健福-50	老人保健医療事業	43	804	0.1	c	C
健福-51	国民健康保険事業(特別会計)	18,379,015	18,510,616	17.3	a	B
健福-52	後期高齢者医療事業(特別会計)	4,890,151	4,935,032	5.9	b	A

2 平成26年度末の目標

健康福祉部

市民が心身ともに健康な状態で豊かな生活を送り、主体的に健康づくりに取り組むことができる環境の整備を目指す。
主に、健康づくりの指針・行動計画となる鎌倉市健康増進計画の策定作業への着手、生活習慣病防止のための健診の受診率向上・検診事業の充実、救急医療サービスの充実、安定的な国民健康保険制度推進などの事業に取り組む。

3 平成26年度の取組の評価

健康福祉部

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	■ 適切	□ 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	■ 適切	□ 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	■ 適切	□ 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	■ 適切	□ 要改善

鎌倉市健康増進計画推進委員会の設置、身体的な負担が少ない採血による胃がんリスク検診への移行への着手、ICTを活用した「スマホdeドック」を活用し、今後のキット健診のあり方を検証するための準備、休日夜間急患診療所における年末年始の二科体制診療を実施、レセプト点検業務等による医療費の適正化や保険料収納率の向上に努めた。

4 今後の方向性

健康福祉部

鎌倉市健康増進計画に基づく市民の健康づくり、キット健診を「スマホdeドック」に移行することによる健診事業の充実、通常の休日夜間急患診療における小児救急の診療体制の整備などにより、市民が心身ともに健康な状態で豊かな生活を送ることができる環境整備を行うとともに、レセプト点検における効率的な点検の導入などによる医療費の適正化及び高額療養費資金貸付事業の廃止や国保組合支援事業の縮減の検討による国民健康保険事業の財政面での安定化を推進する。

5 平成27年度末の目標

健康福祉部

平成28年4月施行に向けた鎌倉市健康増進計画策定作業、ゴールデンウィーク及び年末年始に小児科医を招へいした二科体制での診療、平成28年度以降のキット健診のあり方についてを見据えた「スマホdeドック」の受診状況の分析、レセプト点検における効率的な点検の導入による医療費の適正化や保険料収納率の向上などにより国民健康保険事業の財政面での安定化を推進する。また、高額療養費資金貸付事業の廃止を行う。

鎌倉市民評価委員会の評価

1 評価できるところ

- ・健康増進計画推進委員会を設置し、市民の健康づくり、キット健診のあり方を検証する為の準備、休日夜間急患診療所における年末年始の二科体制診療を実施したこと。
- ・市民意識による重要度は、ごみ、防災に次いで高い分野であり、目標とすべきまちの姿に向けて多種の事業が実施されている。

2 課題・提言

- ・健診事業の充実、通常の休日夜間急患診療における小児救急の診療体制の整備が必要である。
- ・主な取り組みの内容と個別事業との対応関係がわかりにくく、目標達成にむけた事業のポイントを整理する必要がある。
- ・市民意識調査では「もっと力を入れるべき」の割合が高く、この背景には、災害時の問題、少子高齢化に伴う専門医療の充実が求められていると考えられる。